



発行 / 医療法人社団愛友会三郷中央総合病院

編集 / 広報委員会

〒341-8526 埼玉県三郷市幸房 745 番地

TEL 048-953-1321 FAX 048-952-7279

<http://mchp.jp/>



A^アQ^クU^アA



2010年4月新入職員

理 念

愛し愛され信頼される病院

基 本 方 針

1. わたしたちは、すべての人の人格を尊重し、誠実な対応につとめます。
2. わたしたちは、わかりやすい言葉で説明するように心がけます。
3. わたしたちは、患者さまの訴えや要望に応えられるよう心がけます。
4. わたしたちは、最良の医療と看護を提供するために研鑽につとめます。
5. わたしたちは、地域の医療機関・保健機関と緊密な連携につとめます。

患 者 様 の 権 利

1. あなたは、どのような時でも安全な医療を平等に受けることができます。
2. あなたは、自分の病気の診断や治療の方法に対して知ることができます。
3. あなたは、自分の病気や治療に対して十分な説明を受け、治療法など自ら選択することができます。また、他の医師の意見（セカンド・オピニオン）を聞くこともできます。
4. あなたの診療に関する個人情報やプライバシーは保護されます。
5. あなたは、自分の診療記録などについては、文書・コピーあるいは口頭で開示を求めることができます。

睡眠時無呼吸症候群の精密検査（一泊入院）を始めました

睡眠時無呼吸症候群とは。。。

気道の閉塞などの原因で睡眠中に何回も呼吸が止まる病気です。

いびきや起床時の頭痛、日中の眠気や倦怠感などの症状があります。また、高血圧や脳卒中、糖尿病などの合併症を引き起こす事もあります。



睡眠時無呼吸症候群の精密検査について

睡眠時無呼吸症候群は睡眠時の出来事ですので、検査は入院していただき、睡眠に関する様々なことを測定する終夜睡眠ポリグラフィックという検査をします。

測定には頭や体に電極・センサーを取り付けますので、少々わずらわしく感じるかもしれませんが、痛みを伴う検査ではありません。



治療方法は??

CPAP 療法といい、睡眠時に鼻から一定圧を加えた空気を送り込むことにより、上気道の閉塞を取り除き睡眠中の気道を確保する非常に有効な治療法があります。

お問い合わせ・ご相談は、検査科へお願いします。

泌尿器科 体外衝撃波結石破碎装置導入！！

当院では、10月より最新型の体外衝撃波結石破碎(ESWL)装置を使用する、結石破碎を始めます。

尿路にできる結石を尿路結石と言います。結石は腎臓で形成され、移動すると尿管へ入り込みます。結石が尿管にはまり込むと強い痛みが起こります。腎結石・膀胱結石は痛まない事もありますが、尿管結石にはたいへん強い痛みがあります。自然に出ない結石や、腎臓の働きが悪くなってきたときは積極的な治療が必要になります。一般に行われる治療は体外衝撃波結石破碎術(ESWL)で、体外より衝撃波を結石に照射し、結石破碎を行います。

お問い合わせは泌尿器科へ。お気軽にどうぞ。(次号、詳細記事を掲載します)



集中ケア認定看護師を ご紹介！

集中ケア認定看護師
野上 拓也



心臓血管外科病棟(4A病棟)に勤務している、野上です。

集中ケア認定看護師の資格を取って3年目になります。集中ケア認定看護師とは、特に急性期における呼吸・循環・脳神経・代謝・栄養障害がある患者さまに対するケアの知識・技術のほかに、救命技術・手術後の看護ケア、各種医療機器についてなど、主に集中治療室における看護ケアの知識・技術に特化した認定看護師です。

院外への活動としては、看護学校の講師、および関連する学会やセミナーへの参加を行っています。そのほかに、グループ病院の認定看護師との会議等へも参加し、情報交換を行っています。

院内の活動としては、今年から本格的に始動する呼吸サポートチーム(RST)の一員として、主に人工呼吸器をつけている患者さまに対して、1日でも早く人工呼吸器がはずれるように、医師・看護師・臨床工学技師・リハビリスタッフと協働して、多方面からアプローチをしています。少しでも自分たちの行ったケアが、患者さまへ良い影響が出るように色々工夫しながら活動を行っていきたくて考えています。

またそのほかに、院内ではクリティカルケアコース(急性期分野)と称して、年間勉強会を企画・運営しています。特に、急性期の患者さまに対するケアの選択・方法、疾患についての勉強などを、1人でも多くの看護師が、患者さまに対するケアを効果的に提供できるようにと願いながら行い、早3年目となります。

資格を取ってあっという間の3年でしたが、定年まであと30年、自分に厳しく、時にはのんびりと息の長い活動をしていきたいと考えています。院内で見かけた際には、お気軽にお声かけ下さい。

上半期入職の常勤医師をご紹介します！！



放射線科 部長
きとう せつ
佐藤 設

本年 4 月より放射線科常勤医として勤務しております。

昭和 60 年東邦大学卒業後、放射線科一筋 25 年になりました。専門は放射線科診断一般です。心臓以外の CT、MRI 診断を中心に、迅速な読影レポート作成をモットーに仕事をしています。

当科は 32 列 MDCT、1.5T MRI が設置されており、診療放射線技師も 11 名在籍しております。近隣の多くの先生方に地域連携として医療機器の共同利用をしていただきたいと思います。画像診断を通して患者様を中心とした医療の向上につながる様に努力していく所存です。

今後ともよろしくお願ひします。



整形外科
はらだ のりこ
原田 紀子

はじめまして。今年度から、三郷中央総合病院整形外科の常勤医としてお世話になっております、原田紀子と申します。

医師としては 4 年目で帝京大学病院より派遣され、江澤先生と仲地先生の指導のもと、外来・病棟・手術と当直を頑張っております。

今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

今年の 4 月から常勤となりました仲地と申します。

一般整形外科を中心に診療を行っていますが、今年度から整形外科の当直も始まり外傷も増えてきているのが現状です。

大学院では膝を専門に関節軟骨の研究を行いました。その時の経験も生かし、今後は人工膝関節置換術も積極的に行っていくと考えております。

宜しくお願ひ致します。



整形外科
なかし のりき
仲地 紀樹



泌尿器科
おくむら たいすけ
奥村 太輔

2010 年 4 月から泌尿器科の常勤医として勤務している奥村太輔と申します。平成 12 年に昭和大学を卒業し以後関連施設で勤務してきました。

当院では一般的な泌尿器科疾患から尿路悪性腫瘍、人工透析、尿路結石の治療など幅広い診療が可能です。

少しでも皆様のお役に立てればと考えておりますのでよろしくお願ひします。



循環器内科
きうち しゅんぺい
木内 俊介

4 月より常勤医として勤務しております循環器・心臓血管外科の木内と申します。

昼夜を問わず 24 時間体制で循環器疾患の患者様の診療に当たらせていただいております。迅速な循環器疾患への対応を念頭に頑張っております。不慣れな面も多々あり、平島・川崎両部長をはじめとして様々な先生方にご指導・ご鞭撻を頂きながら、日々診療を行なっているところです。患者様にもご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願ひいたします。

今年の 6 月より当院に赴任した脳外科の福島大輔です。

赴任前は東邦大学医療センター大森病院で働いていました。大学では脳外科一般と血管内治療を中心に行っていました。

当院で診療を行うようになり、三郷地域では血管障害の患者さんがたくさんいるという印象を受けています。

周囲に脳外科救急の受け入れ先も少なく当院で積極的な治療を行っていくと考えています。

どうぞよろしくお願ひ致します。



脳神経外科
ふくしま だいきち
福島 大輔

7 月から眼科常勤医として勤務しております。

一年以上常勤医不在であったためまずは手術ができる環境を整えることから始めています。

手術は主に白内障手術、その他翼状片・睫毛内反などの外眼部手術（及び一部の緑内障手術）などです。白内障手術では超音波ハンドピースを含めオートクレーブ滅菌済みのものを各患者様に使用し、アルコール消毒のみで使い回すことはありません。成熟白内障等難症例の白内障にも出来る限り対応したいと考えています。



眼科 部長
おの お かつひこ
小野尾 敦彦

治りづらい耳鼻咽喉科の病気に積極的な治療を

三郷中央総合病院 耳鼻咽喉科部長 高峰 敦



初めまして、9月より常勤の耳鼻咽喉科医として着任致しました高峰敦です。当院の耳鼻咽喉科は長年非常勤の先生方のご尽力により運営されておりましたが、常勤でないため緊急入院の要請に対応できず、近隣の皆様、ご紹介いただいた先生方のご要望に必ずしも十分お応えできていなかった面もあるかと存じます。私の着任後も、限られたマンパワーですので、当面は外来診療の充実、緊急入院への対応を目標に診療システムを構築して参ります。診断の結果、手術の必要な場合には、積極的に近隣の信頼の置ける病院をご紹介致します。

耳鼻咽喉科は「鎖骨から上、脳・眼から下」の全てを対象とする守備範囲の広い科ですが、私が具体的に重視する分野として、第1に小児の鼻副鼻腔炎・中耳炎の治療の徹底、第2に様々な「めまい」に対する幅広い対応、第3に漢方薬の積極的な導入、を考えております。いずれも従来の耳鼻咽喉科診療で徹底できていなかった分野で、お困りの方も多かったのではないかと思います。

- ・なかなか治らない子供さんの耳・鼻・のどの病気
- ・他の医療機関で「異常なし・うちの科の異常ではない」などと言われた「めまい・ふらつき」
- ・通常の治療で改善しない、しつこい耳・鼻・のどの違和感

など、一度拝見できればお役に立てることもあるかと存じます。最初からご満足いただける治療結果が出ないこともあるかと思いますが、最後まで責任を持って診療にあたりますので、ぜひ長い目でお付き合い頂きたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

毎月 第3水曜日は「健康相談の日」

奇数月 第2, 4土曜日は「糖尿病教室」

平成21年度 診療統計データ

	1年合計 / 1ヶ月平均
外来患者数	133698人 / 11141.5人
入院患者数	84261人 / 7021.8人
1日平均入院患者数	24.05人
救急搬入数	2051件 / 170.9件
紹介患者数	2046件 / 170.5件
訪問リハビリ	4485件 / 373.8件
冠動脈バイパス術	24件
心臓弁置換術	10件
心臓血管造影検査または治療	589件
うち スtent留置	201件
ペースメーカー移植術	12件
閉塞性動脈硬化症バイパス手術	14件
経尿道的膀胱腫瘍切除術	33件
前立腺全摘出術	20件
腹腔鏡下胆嚢摘出術	30件
胃切除術・全摘出術	12件
腸切除手術	29件
人工骨頭・人工関節置換術	25件
脳動脈瘤クリッピング術	10件
脳血管内治療（カテーテル治療）	13件

2010年夏 嗜好調査結果報告

調査期間 2010.7.13～7.15
対象人数 150名
調査方法別内訳 配付：43件 聞き取り：40件
回答率 55%
調査目的 入院食がクックサーブ（調理後冷凍又は冷蔵せず、すぐの配膳）化となり、1年が経過した。
メイン料理である肉・魚にしぼり調査し、今後の味付け・メニュー構成に役立てる。

満足度

昨年度：73.9%（満足・やや満足）

今年度：71.2%（満足・やや満足・普通）

次回は、75%を目標に改善します！！

改善策

ご意見の多かった「味が薄い」について改善します。メニュー作成時の「最低使用塩分量」を定め、調理中の水分による味の薄まりを防ぐため、水分量と調味料の割合を調整していきます。

～ご協力ありがとうございました～